

今週の株式相場見通し

- * 日経平均 21,200~22,100円 TOPIX 1,710~1,780
- * 期待材料 円高ドル安の一服 IoT社会の実現 IoT、AI活用による生産性改善
- * 不安材料 地政学的リスク 中国経済の成長鈍化 長期金利上昇

ブルームバーグ集計によると、2月14日までに発表された米国 S&P500 指数採用銘柄の10-12月期決算において、375社のうち299社が事前予想を上回り、利益成長率は前年同期比15.2%増益と良好に推移している。18年1-3月期は前年同期比16.5%増益、4-6月期19.3%増益、7-9月期20.4%増と高い利益成長が見込まれているうえ、足元で業績見通しの上方修正も進んでいる。直近の株価の大幅な下落と税制改革に伴う業績予想の引き上げにより、米国 S&P500 の今期予想 PER は14日終値時点で17.3倍(昨年末は20.0倍)になっている。これは2017年の平均値18.7倍、16年の17.7倍、15年の17.4倍を下回る水準で、企業業績からみた割高感は解消されつつあり、米国株がこれから、本格的な調整局面に入る展開は見込みにくい。実際、米国 S&P500 指数は9日に、200日移動平均値(2,540.60)付近の2,532.69(PER16.2倍)まで下落したのち、14日は2,698.63まで反発し、年初の水準を回復してきている。一方、為替の円高傾向が重しになり日経平均株価は戻りが鈍くなっている。トランプ政権のドル安政策や日銀の出口戦略に対する警戒感から、早々の円安トレンドへの転換は期待しにくい。ただ、10-12月期 GDP の伸びが弱かったこと、1月の景気ウォッチャー調査で現状判断 DI が天候要因もあり49.9となり、6ヵ月ぶりに好不調の分かれ目となる50を下回ったこと、日米金利差が拡大したこと、黒田日銀総裁の再任観測などを踏まえると、日銀の出口戦略を材料に円を買う動きにはやや行き過ぎ感がある。米国株の下値固めと VIX 指数の低下が進みリスクオフの動きが一服すれば、急速に進んだ円高ドル安に修正の動きが入ることで、米国 S&P500 と同様、日経平均株価も年初の水準である23,000円程度まで戻る展開が期待される。投資対象としては、受注拡大で来期に向けて業績拡大が見込まれるアドバンテスト、SCREEN HD、TVに代わるブランディング広告として、大口顧客から動画広告への需要が急拡大している DACHD、訪日外国人客の増加に伴い WiFi レンタルが好調なビジョン、人手不足に伴い求人市場の拡大が続くディップ、エンジャパンなど直近の決算好調銘柄に注目したい。(2月15日現在、松本 直志)

今週の予定

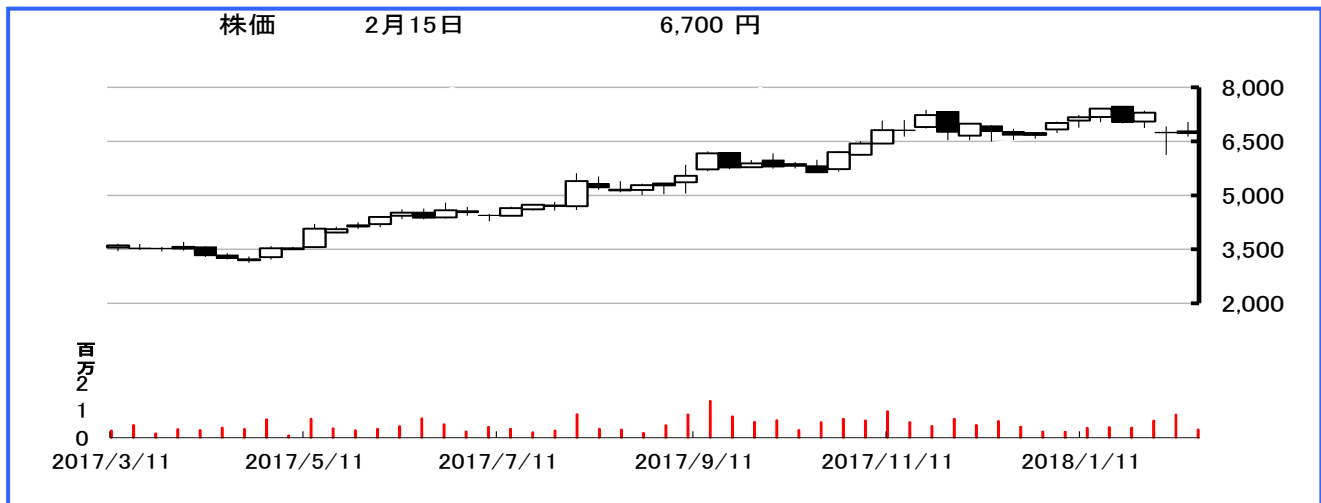
	国内	海外
2/19 (月)	1月貿易収支(8:50) 横浜ゴム(5101)本決算(13:00)	[欧]ユーロ圏財務相会合 [米]休場(ワシントン誕生記念日)
20(火)	IoT Japan 東京 2018 (~21日) Security 東京 2018 (~21日)	[独]2月 ZEW 調査(19:00) [欧]EU 財務相理事会
21(水)	2月日経日本製造業 PMI(9:30) 第1回 地方創生 EXPO(~23日) インバウンドマーケット EXPO (~23日)	[欧]2月ユーロ圏製造業 PMI(18:00) [米]1月中古住宅販売件数(24:00) [米]FOMC 議事要旨(1月30~31日分)(28:00)
22(木)	日本痛風・核酸代謝学会総会(~23日)	[独]2月 IFO 企業景況感指数(18:00)
23(金)	1月全国 CPI(8:30)	[欧]非公式の欧州連合(EU)首脳会議
24(土)	社民党大会(~25日)	第68回ベルリン国際映画祭授賞式
25(日)	東京マラソン	[韓]平昌冬季五輪閉会式

出所はロイター、ブルームバーグ、新聞各紙等より、時刻は日本時間(予定)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

今週の参考銘柄

イリソ電子工業 (6908) 東証 1部



	16年3月期 (百万円) 前年比	17年3月期 (百万円) 前年比	18年3月期(予) (百万円) 前年比	株価(2/15)	6,700 円
売上高	38,209 2.7%	37,547 -1.7%	41,500 10.5%	業種	電気機器
営業利益	6,568 -4.4%	6,661 1.4%	7,900 18.6%	売買単位	100 株
税前利益	6,602 -4.4%	6,750 2.3%	7,800 15.5%	PER(予想)	27.3 倍
当期純利益	4,045 -20.2%	4,875 20.5%	5,800 19.0%	PBR(実績)	3.2 倍
EPS(円)	176.7	207.2	245.0	ROE(実績)	11.7 %
配当金(円)	30	40	45	配当利回り(予想)	0.7 %
				担当	多功 毅

17年9月1日に1株を2株に株式分割 17年3月期及び16年3月期のEPS、配当についても遡及修正している
出所：業績に関する数値は決算短信、決算説明会資料より

車載向けに強みを持つコネクタメーカー。18年3月期3Q累計決算における市場別売上高は車載が26,687百万円、コンシューマーが3,309百万円、インダストリアルが1,645百万円。車載売上高の内訳は、カーAV、ナビゲーションシステム等のAVNが12,912百万円、安全系、電装関連、駆動系等のエレクトロニクスが13,775百万円となっている。かつては、AVN向けコネクタが主力製品であったが、自動車メーカー各社が衝突防止関連装置やモータ駆動の採用を進めるに従い、車載エレクトロニクス向けが急成長している。

3Q累計決算は前年同期比13.9%増収、38.3%営業増益での着地となった。カメラやミリ波レーダーといったADAS関連向け、電動化の進展に伴いパワートレイン向けが好調に推移する車載エレクトロニクス向けが前年同期比24.3%と好調に推移。近年は伸び悩み傾向であった車載AVN向けも当社製コネクタを採用したカーナビを搭載する車が北米で好調に推移したことで同5.0%増と堅調。また、FA向けが好調に推移するインダストリアルが同40.6%増、コンシューマーも同2.4%増と全市場向けに増加している。2Q決算発表時に公表した通期業績計画を据え置いたために、4Qについては前年同期比0.9%増収、21.9%営業減益計画となっているが、足元の業績推移を踏まえると上ブレ着地の可能性が高いものと思われる。来期以降についても車載エレクトロニクス向けが業績のけん引役として想定されるが、車載AVNもコネクテッドカー関連向けに伸長が期待される。

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

説明会より

銘柄 (コード) 市場 株価(2/15) 売買単位	コメント
ネクソン (3659) 東証1部 3,775円 100株	17年12月期は前年同期比28.3%増収、122.6%営業増益。中国でPCオンラインゲームの「アラド戦記」が絶好調で、過去最高業績を達成。4Q単独で見ても、中国のアラド戦記や北米のM&Aが寄与し前年同期比21.8%増収。今期の1Qは前年同期比9.5~20.1%増収、13.5~31.5%営業増益計画。中国の「アラド戦記」のメジャーアップデートである旧正月アップデートが好調なことから、増収増益計画。今年は春節が遅いため、2Qにかけてもアップデートの効果が継続する見込み。(松本 直志)
セプテーニHD (4293) 東証JASDAQ 418円 100株	1Q決算は前年同期比12.3%増収、Non-GAAP営業利益は13.8%減。人材や漫画アプリへの投資実施により減益も、営業利益率は改善傾向で、上期に対して利益進捗は順調。ネット広告、漫画アプリ「GANMA!」ともに売上が伸び、収益は過去最高を更新。ネット広告は海外収益が前年同期比52.6%増、動画広告が37.3%増と好調。有名広告主向けブランド広告収益も前年同期比約1.5倍に拡大。「GANMA!」は広告商品の拡販やブランド広告市場の開拓が進行し、前年同期比約2.5倍増収と拡大が続いている。(松本 直志)
デンソー (6902) 東証1部 6,202円 100株	業績は引き続き好調に推移している。トヨタを筆頭に国内外の自動車メーカー向けにビジネスを拡大させている。注力するADAS関連、電動化関連についても順調に受注を重ねており、中長期に渡って当社の業績をけん引する可能性が高まっている。今期は四半期毎に通期業績の上方修正を発表しているが、今回の上方修正後の業績計画も操業度効果の前提を中心に保守的計画と思われ、上ブレ着地が期待される。(多功 毅)
日野自動車 (7205) 東証1部 1,441円 100株	国内は新型車が販売をけん引。海外はアフリカ、タイでは苦戦するものの、主力市場のインドネシアや米国を中心に幅広い地域での拡販効果、さらに計画対比での円安効果も寄与し、3Q累計業績は9.7%増収、21.5%営業増益で着地。3Qでの円安による業績上ブレ分を反映させるかたちで、通期計画を売上高で100億円、営業利益で30億円増額修正。修正後計画についても、海外の販売計画が保守的と思われ、上ブレ着地に期待したい。(多功 毅)
ホンダ (7267) 東証1部 3,734円 100株	米国の法人税引き下げに伴い3Qで3,461億円の特別利益を計上。北米での高収益なライトトラック系の拡販、アジアでの二輪車の成長、計画対比での円安効果も寄与することで本業ベースでも業績は堅調に推移している。通期計画を再増額修正。4Qについてはコストの期ズレや為替を1ドル105円と想定したことにより3Q実績対比で弱めの予算となっているが、保守的計画と思われる。来期に向けてはライトトラックの生産拡充が業績をけん引するものと思われる。(多功 毅)
ビジョン (9416) 東証1部 2,685円 100株	17年度決算は前年同期比18.3%増収、38.6%営業増益。売上、利益ともに過去最高を更新。新規及びリピート利用の件数増加で、主力のWiFiレンタルが好調。仕入れ原価の低減や国が変わっても使えるクラウドWiFiの導入で、出荷オペレーションが効率化され収益性が改善。今期もWiFiレンタルが伸び前年同期比17.3%増収、25.9%営業増益計画。東京オリンピックに向けて拡大が見込まれる訪日外国人客の増加を追い風に、今後も業績拡大が期待される。(松本 直志)

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、宜しくお願い致します。

いつもあなたのそばで 頼れる金融機関です

やまわ

■ ■ ■ 山和証券店舗網 ■ ■ ■

本店営業部	(03) 3668-5412	〒103-0026	中央区日本橋兜町 1-8
金町支店	(03) 3600-6681	〒125-0041	葛飾区東金町 1-22-9
高円寺支店	(03) 3311-1171	〒166-0003	杉並区高円寺南 3-58-25
大岡山支店	(03) 5754-5523	〒145-0062	大田区北千束 3-28-1 パークホームズ大岡山ラヴィアンコート 1F
巢鴨支店	(03) 3918-6311	〒170-0002	豊島区巢鴨 3-33-2
上板橋支店	(03) 3935-0311	〒174-0071	板橋区常盤台 4-22-12
深川支店	(03) 5600-7891	〒135-0005	江東区高橋 11-1
茂原支店	(0475) 25-1151	〒297-0023	茂原市千代田町 1-6 茂原サンヴェルプラザ 1F



○金融商品取引法に基づく表示事項

◇商号：山和証券株式会社 金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第190号
加入協会：日本証券業協会

◇ご投資にかかる手数料の概要およびリスクについて

- ・国内上場株式等を購入する場合は、約定代金に対して最大 1.1772%(ただし約定代金 230,000円以下の場合は最大 2,700円)の委託手数料をいただきます。
- ・国内上場株式等は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行会社の信用状況の悪化等により投資元本を割り込むおそれがあります。商品ごとに手数料等及びリスクは異なりますので当該商品の契約締結前交付書面をよくお読みください。

○山和証券免責事項

- ・本アナリストレポートは、投資の参考となる情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券の売買あるいは特定の証券取引の勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断と責任でおねがいします。
- ・本アナリストレポートの全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

発行 山和証券調査室